

**【授業の到達目標および概要】**

学部の講義では、検体を扱うために必要な技術や手段、疾病の成因、病態と検査値との関係について勉強してきたが、遺伝子情報を駆使したオーダーメイド医療が身近になった現在では、病気の治療や予防に対する最先端の医学的アプローチについても理解しておく必要がある。しかしその一方で、高度な医療技術の急展開に伴い、様々な倫理的問題も浮かび上がっている。

本講義では、以下に示すキーワードを中心に情報を提供するので、最新のバイオ関連技術を利用することによって新たに生じてきた功罪について、医師や研究者、患者や家族、発展途上国の弱者や企業側のそれぞれの視点から考えてみたい。授業中での討論やプレゼンテーションを通して、常に生命倫理について自らに問いかける姿勢と社会的倫理感の修得を目標とする。

キーワード：遺伝子の診断・差別・特許、出生前・受精卵診断、遺伝子治療、非配偶者間人工受精、精子・卵子バンク、代理出産、ES・iPS細胞の作製と利用、クローン人間、再生医療、臓器移植、延命と安楽死、医療過誤、フェアトレード、遺伝子組換え食品

**【授業計画】**

- ①② 医療事故と生命倫理
- ③④ 臓器移植と生命倫理
- ⑤⑥ 代理出産と生命倫理
- ⑦⑧ 遺伝子診断と生命倫理
- ⑨⑩ 終末期医療と生命倫理
- ⑪⑫ 遺伝子改変作物と生命倫理
- ⑬～⑮ まとめ

なお、取り上げる項目や配分時間を変更する場合がある。

**【授業外学習】**

提示する授業関連項目について予め調べ、紙媒体にまとめて提出すること。最終的に興味ある内容に絞り、パワーポイントの図を作製して自分の意見を中心に発表すること。

**【成績評価の方法・基準】**

出席状況と授業中の討論への参加状況に加えて、授業外学習への取り組み方と最終回におけるプレゼンテーション（関連する興味ある内容について）により評価を行う。

**【教科書】【参考書】【教材】**

随時プリントを配布し、パワーポイントにより関連事項を図示する。参考書や文献については講義プリント中に示す。適宜、DVD やビデオを視聴する。

**【備考】**

プレゼンテーションの日時は履修者と相談して決定する。